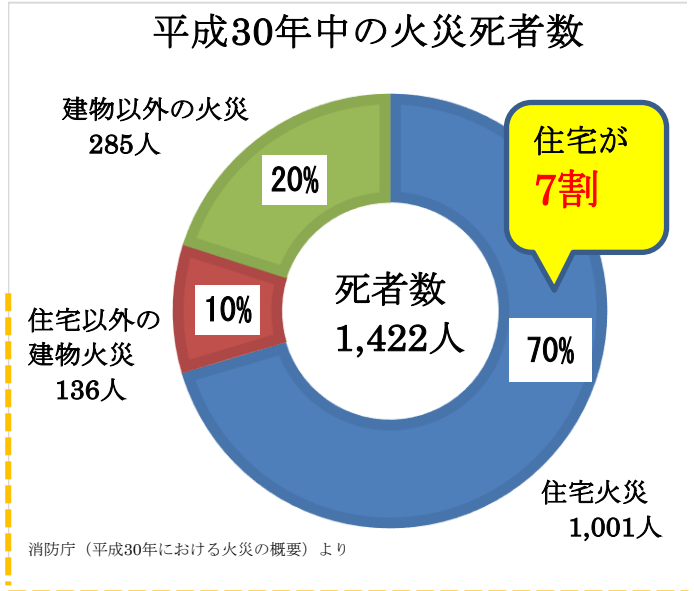


# 住宅用火災警報器

## 10年経ったら**交換**しましょう!!

火災による死者は **7割**が住宅で発生しています。

火災を知らせる住宅用火災警報器ですが、近年、その機能を発揮できなかった事例が報告されています。



答え：住宅用火災警報器は一般に電池で動いており、電池の寿命は約10年とされています。

古い住宅用火災警報器は電池切れや電子部品の劣化などで火災を感知しなくなることがあるため、「いざ!」というとき正常に作動しない恐れがあります。



【交換が必要か作動確認をしましょう。】

**作動確認のしかた**

正常なら以下のように鳴ります。

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。

- ▶電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
- ▶それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。

※この警報音は代表例です

（出典：一般社団法人 日本火災報知機工業会）